

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科 読書科	国語「いいてんき」互いの話に関心をもつ。	国語「ききたいな、ともだちのはなし」友達に楽しかったことを話したり、友達の話を聞いたりする。	国語「おおきくなった」観察したことなどを伝え合う。	読書科「としょかんへいこう」好きな本を選択して、友達と紹介し合う。		読書科「すきなもの、ななに」文章を読み合い、友達の作品のよさを見付けて伝える。	国語「ともだちのこと、しらせよう」話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように聞き、感想をもつ。		国語「ずっと、ずっと、大きだよ」場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像して読む。	図画工作「表したいものに合わせて材料を選び、想像してつくりたいものをつくる。」		音楽「演奏や合唱を練習し、皆で合わせることの楽しさに気づく。」
道徳	礼儀あいさつの大切さを知り、気持ちのよいあいさつをしようとする。	思いやり・親切身近な人に温かい心に接し、親切にしようとする。	信頼・友情友達と仲良く助けあっていこうとする。	信頼・友情友達のことを思い、助けようとする。		善悪の判断正しいと思ったことは、勇気をもって行おうとする。	思いやり・親切身近な人に温かい心に接し、親切にしようとする。	生命の尊重身近な生き物の誕生や成長を優しく見守り、命あるものを大切にしようとする。	思いやり、親切友達や幼い人に温かい心もち、親切にしようとする。	生命の尊重かけがえのない生命の尊さに気づき、大切にしようとする。	善悪の判断よいと思うことを、進んで行おうとする。	
生活科	がっこうをしろう友達や2年生と一緒に学校探検をして、施設を知る。	はなをそだてよう自分で花を育て、草花に関心を持ち、命を大切にしようとする。		あきをさがそう さつまいもの収穫を祝い、2年生やみどり学級との交流を深める。		遊びの広場幼稚園の子やみどり学級の友達に遊びの楽しさを優しく教える。		2年生に向かって1年間の成長を見つめ、自分なりの課題を設定する。				
特別活動	1年生を迎える会 学級活動係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う。	なかスポ協力し合って演技をする。友達を応援する。		ユニセフ募金互いに助け合うことの大切さに気付く。	音楽会友達の良さを認め合い、努力に気付く。	みどり学級のことを知ろうみどり学級の児童への理解を深め、かかわり方を考える。		学級活動自分の成長を確認し、進級に向けて、新たな目標を考える。		6年生を送る会		
その他	仲よし班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。											
	みどり学級との交流											

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ = 関連的な指導 = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、2学年としての望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。 言語環境を整え、教育環境の整備を図る。				一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一人として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科 読書科	体育「体ほぐし」友達と協力、協調する楽しさを味わう。 音楽「ドレミの歌」階名に合わせて友達と楽しく身体表現をする。	国語「続けてみよう日記」作文を友達と読み合い、よいところを見付け合う。	国語「スイミー」仲間と力を合わせることで乗り越えられることを読む			国語「お手紙」登場人物の触れ合いを通して、互いの気持ちを想像する。 国語「おもちゃの作り方をせつめいしよう」あいてにわかりやすいように説明書を書き、読み合う。 図画工作「ひみつのたまご」自分たちが作った紙粘土を使って、自分や友達の表現のよさを認め合う。		国語「おもちゃの作り方をせつめいしよう」あいてにわかりやすいように説明書を書き、読み合う。		国語「すてきなところを伝えよう」友達のすてきなところを、手紙を通して伝え合う。 音楽「音楽を楽しもう」発音や声の出し方に気をつけ、みんなで歌う楽しさを味わう。 普話の読み聞かせクイズ大会を開く作品を読み合い共感する		
道徳		規則の尊重 人間関係作りにおいて、きまりを守って、生活しようとする。		正直・誠実 嘘をついたり、ごまかしたりせず、正直に生活しようとする。		友情・信頼 友達の気持ちを考え、互いに理解しながら生活しようとする。		親切・思いやり 人に対する親切心や関心を持ち、温かな心で接しようとする。		よりよい学校生活 自・集団生活 学級を大切に、よりよい学級にしようとする。	感謝 日頃、お世話になっている人に感謝の気持ちを表そうとする。	国際理解 他国に対する理解や親しみをもとうとする。
生活科	一年生をむかえよう 友達や1年生と一緒に学校探検をして、優しく接しようとする。	どきどきわくわく まちたんけん 地域で働く方にインタビューして、素敵ところを発見する。		やさいをそだてよう ミニトマトなど、育てた野菜を収穫し、紹介するとともに、仲間の取り組みを認める。			うごくおもちゃを作ろう 手作りおもちゃ作り、おもちゃ紹介をするとともに、1年生と交流する。				明日へジャンプ 成長のアルバム「大きくなったね」赤ちゃんの世話体験や成長の聞き取りを通して、自分の成長を実感し、友達と共に成長を認め合い、喜び合う。	
特別活動	1年生を迎える会 学級活動 自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。					なかスポ 協力し合って演技をする。友達を応援する。	ユニセフ募金 互いに助け合うことの大切さに気付く。	音楽会 友達の良さを認め合い、努力に気付く。			6年生を送る会	学級活動 自己の成長を確認し、進級に向けて、新たな目標を考える。
	仲良し班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。											
その他	みどり学級との交流											

「 」=個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 ◻ =「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、外国語活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。 言語環境を整え、教育環境の整備を図る。				一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。						1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる。	
各教科 読書科	体育(走・跳)「リレー」 きまりを守り、仲よく助け合 態度を育てる。		国語「気持ちをつたえる 話し方・聞き方」自分の 考えを適切に表現する。			国語「ちいちゃんのかげおくり」 場面の情景や登場人物の心の動き を想像しながら読み、登場人物の人 柄や思いやりを読み取る。		読書科「わたしたちの学校じまん」 学校のよさを見付け、紹介する。				国語「モチモチの木」場面 の移り変わりや登場人物の 心情を捉える。	
道徳	節度・節制 節度ある生活を送 ろうとしている。	親切・思いやり 困っている人に対 して、優しい思い やりの心で接しよ うとしている	相互理解 寛容 相手のことを理解 し、異なる意見も 尊重しようとする	家族愛 家族を 敬う 家族の一員とし て家庭を明るくし ていこう	生命の尊さ 生命あるものを 大切にす	礼儀 誰に対しても真心 をもって接する	個性の伸長 自分の長、気付 き、よいところを伸 ばす	公正・公平 誰に対しても公 正・公平に接する	努力と強い意志 目標に向かって、 強い意志をもって やり遂げることの 大切さがわかる。		体育(ゲーム)ゴール型 「ポートボール」 友達と協力してゲームを楽しむ。	友情 信頼 友達と互いに理解し、 信頼し、助け合う。	国際理解 国際親善 世界の人々や文化 に親しんで、関心も つことの大切さが わかる。
総合的な 学習の 時間	みどり学級のことを知ろう みどり学級（特別支援学級） の児童への理解を深め、かか わり方を考える。				小松菜を育てよう 小松菜作りを体験し、江戸 川区の小松菜について理解 を深め、収穫の喜びを感謝 の気持ちで表す。	地域安全マップを作ろう 地域を理解すると共に、登下 校を見守って下さる方々に感 謝の意を表す。				きこえとことばの教室に ついて知ろう 通級児童がどんなことを学 んでいるか、理解を深める。			
特別活動	1年生を迎える会 学級活動 自分や学級 の目標を設定し、望まし い人間関係を考える。					なかスポ 協力し合って演 技をする。友達を 応援する。	ユニセフ募金 互いに助け合う ことの大切さに 気付く。	音楽会 友達の良さを 認め合い、努 力に気付く。			6年生を送る会	学級活動 自 己の成長を確認 し、進級に向け て、新たな目標を 考える。	
その他	仲よし班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。												
	みどり学級との交流												
	外国語活動												

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ = 関連的な指導 ◻ = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。 言語環境を整え、教育環境の整備を図る。				一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる。		
各教科 読書科	国語「春の歌」命の目覚め。生きていることを感じる。	読書科「やさしさの輪を広げよう」の本を探し、障害についての理解を深める。		体育(器械運動)マット運動 友達と協力して準備や片付けをしたり、運動の助け合いをしたりする。	理科「季節と生物(春・夏・秋・冬・春の訪れ)」 動植物の1年の成長と過ごし方を知り、生命尊重を実施する。			国語「クラスみんなで決めるには」学級会を通して、みんなの意見を大切に話し方を身に付ける	国語「友情のかべ新聞」登場人物のかかわりから、協力することのよさを感じる。	社会「特色ある地域と人々のくらし」特色を生かした人々のくらしの学習を通して、東京に住む人々の願いを知る。		
道徳	親切・思いやり困っている人に対し、優しい思いやりの心で接する。	個性の伸長自分の良さを知り伸ばしていこうとする。		善悪の判断正しいことは自信をもって行おうという思いをもつ。		友情・信頼友達の気持ちになって考えて行動する。	家族愛家族を敬い、家族の一員として家庭を明るくし、家族のために働く。			国語「風船でうちゅうへ」失敗を重ねながら、実験を繰り返し、風船でうちゅうの撮影を成功した筆者の努力に感想をもつ	努力と強い意志夢の実現のために、努力を重ねる気持ちをもつ。	生命の尊重命の尊さを知り、命あるものを大切にすることを大切にする気持ちをもつ。
総合的な学習の時間	きこえとことばの教室のことを知ろう教室の児童への理解を深めるとともに、生活の中の困難さに関心をもつ。	「やさしさの輪を広げよう」障害をもった方に話を聞いたり、ともに活動したりして、障害者が使う道具や、設備に関心を持ち、調べたことを発表する。										
特別活動	1年生を迎える会 学級活動自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。	仲良し班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。				なかスポ協力し合って演技をする。友達を応援する。	ユニセフ募金互いに助け合うことの大切さに気付く。	音楽会友達の良さを認め合い、努力に気付く。			6年生を送る会	学級活動自己の成長を確認し、5年進級に向けて、新たな目標を考える。
その他	みどり学級との交流											
	外国語活動											

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） \longleftrightarrow = 関連的な指導 = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。								1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる。	
各教科・読書科		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		理科「受けつがれる生命」生命を尊重しようとする態度を身に付ける。				国語「作家で広げる」わたしたちの読書発表会を通して考えを広げたり深めたりする。		国語「想像のスイッチを入れよう」筆者のものの見方や考え方を読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。	国語「大造じいさんとがん」登場人物の生き方に共感しながら読み、感想をもつ。		
	体育(陸上)「リレー」公平・協力の態度を身に付ける。	社会「米づくりのさかんな地域」米作りの苦勞を知り大切に食べようとする。	家庭科「私の生活、大発見！」家族の一員として、自分にできる仕事を増やそうとする態度を育てる。			体育(保健)「心と健康」身体の状態と心はつながっていることを理解する。			体育(ボール)ゴール型「サッカー」「バスケットボール」友達と協力してゲームをする態度を身に付ける。	社会「わたしたちの生活と森林」様々な環境に適応して暮らしている人々のことを知る。	社会「環境を守るわたしたち」自分たちを取り巻く環境の問題点について、自分たちにできることを考える。		
道徳	信頼・友情 互いに信頼して友情を深め、協力し助け合う心で接する。	思いやり・親切 相手の立場や気持ちを考えて温かく親切に接する。	努力・強い意志 困難なことにも粘り強く、物事をやりぬこうとしている。	家族愛 父母、祖父母に感謝し、家族の一員としての自覚をもち、明るい家庭を築こうとする心をもつ。		信頼・友情、男女の協力 男女互いに理解し合って友情を育て、協力しようとする。	公正・公平、正義 だれに対しても偏見をもたず、公正・公平に接し、正義の実現に努めようとする。	感謝 自分の生活が多くなの人々の支え合いによって成り立ち、答えようとしている。	勤労・社会への奉仕 社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役に立とうとする。	愛校心 学校に愛情をもち、学校の一員としての自覚をもって、自分たちで学校をよくしようとする。	よりよく生きる 喜び 人間として、よりよくいきようとしている。	国際理解・親善 外国の人々や文化について知り、国際親善に努めようとする心で接する。	
総合的な学習の時間	「SDGsについて調べよう」					「環境について調べよう、考えよう」自分たちを取り巻く環境の問題点を調べ、環境を守るためにできることを考える。							
	稲作農業を知ろう 命あるものを慈しむ心で、植物を育てる					外国語 外国の文化について興味・関心をもち、外国語を使ってコミュニケーションをとる。							
特別活動	1年生を迎える会 学級活動 自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。		学級活動 いじめのない学級づくり いじめのない学級づくりについて考える。	なかスポ 協力し合って演技をする。友達を応援する。		ユニセフ募金 互いに助け合うことの大切さに気付く。	音楽会 友達の良さを認め合い、努力に気付く。				6年生を送る会	学級活動 自己の成長を確認し、進級に向けて、新たな目標を考える。	
その他	仲良し班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。												
	みどり学級との交流												

「 」＝個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） \longleftrightarrow ＝関連的な指導 ＝「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。足立
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。				一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				6年間の学校生活を振り返り、自己の成長を認識させる。			
		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。											
各教科 読書科	社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」憲法の基本的人権の尊重についての理解を深める。	社会「わたしたちの願いを実現する政治」様々な立場の人々の願いを知り、政治の働きでどのように実現されているのかを考える。	国語「地域の防災について話し合おう」お互いの考えや意見を関連付けて述べ合い、話し合っグループにまとめる。	国語「川とノリオ」登場人物の心情を読み取り、生命・平和について考える。			社会「江戸幕府と政治の安定」アイヌの歴史について学び、アイヌの人々が差別を受けた背景を知る	国語「ぼくの世界、君の世界」筆者の意見を尊重し、自分の考えを述べる。	社会「長く続いた戦争と人々のくらし」戦争時の暮らしを調べることを通して、生命・平和の大切さを知る。	社会「世界の中の日本」世界における日本の立場を理解し、世界平和にかかわる態度を育てる。外国人から見た日本の姿を理解する。			
	体育（陸上運動）ルールを守り、協力しながら運動する経験を通して公平・協力の態度を身に付ける。	理科「生物どうしのつながり」自然界の食物連鎖を通して、生命を尊重しようとする態度を身に付ける。	体育（保健）「病気の予防」HIV等の病気について理解する。			社会「江戸時代の文化を作り上げた人々」差別されていた人々の優れた技術や仕事、江戸時代の文化の発展を支えたことを理解する。				体育（ボール運動）協力しながら工夫して練習やゲームを行う経験を通して、公平・協力の態度を身に付ける。			
道徳	生命の尊重 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する。	家族愛 家族の幸せを求めて進んで役立とうとする。	公正・公平 だれに対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、公平・公正に接する。		家族愛 家族の幸せを求めて進んで役立とうとする。	思いやり・親切 相手の立場に立って考え、だれに対しても温かい心で接する。	公正・公平 だれに対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、公平・公正に接する。	男女の友情と協力 男女相互に理解を深め、相手の人格を尊重する。	国際理解・親善 外国の人々や異なる文化を理解し、互いに尊重し合う。	生命の尊重 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する。	個性の伸長 自分の個性や長所を知り、それを積極的に伸ばして将来に生かそうとする。		
総合的な学習の時間 外国語科	自分を見つめて 自分の良さに気づき、自分の夢や願いについて考える。				自分を見つめて～未来予想図を描こう～ 自分の生き方を考え、自分の夢や願いを未来予想図に描く。				卒業に向けて 感謝の気持ちを持ち、卒業記念制作を行う。 互いの努力を認め合い、周りの人への感謝を表す。				
	外国語 外国の文化について興味・関心を持ち、外国語を使ってコミュニケーションをとる。												
特別活動	1年生を迎える会 学級活動 自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。				なかスポ 協力し合って演技をする。友達を応援する。	ユニセフ募金 互いに助け合うことの大切さに気付く。	音楽会 友達の良さを認め合い、努力に気付く。			6年生を送る会	学級活動 自己の成長を確認し、中学進級に向けて、新たな目標を考える。		
	仲よし班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。												
その他	みどり学級との交流												
		人権メッセージ											

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ = 関連的な指導 = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導